

令和 8 年度 第 1 回燕市総合計画審議会 議事録

日 時	令和 8 年 7 月 23 日（木）午後 1 時 30 分から 2 時 40 分
場 所	燕市役所 委員会室
欠 席	佐藤直明委員、渡邊優子委員

1. 開会

2. 市長あいさつ

3. 新任委員の紹介

4. 協議題

(1) 第 3 次燕市総合計画の中間評価・中間見直しについて

（事務局より、資料 1 「第 3 次燕市総合計画の中間評価・中間見直しについて」を説明）

<会 長>

ただいま事務局から、資料 1 に関する説明がございました。何か確認しておきたい点、ご質問はございますでしょうか。

（委員からの発言なし）

(2) 第 3 次燕市総合計画の施策別指標の進捗について

（事務局より、資料 2 「第 3 次燕市総合計画 施策別指標達成状況一覧表」を説明）

<会 長>

ただいま事務局から、資料 2 に関する説明がございました。委員の皆様からご質問あるいはご意見などを賜りたいと存じます。

<委 員>

製造品出荷額など、金額ベースの指標がありますが、昨今の情勢を見ると、物価上昇がかなりあり、いわゆる卸売物価でいうと、1 割以上上がっているというふうに認識してます。物価上昇がある中で、評価をどのように考えていらっしゃるのでしょうか。

<商工振興課長>

設定されている製造品出荷額等の指標は、コロナ禍前の水準を元に設定しており、現在のような物価上昇は想定しておりませんでした。今後、物価上昇率などを整理しながら、指標の見直しについても検討していきたいと思います。

<委 員>

ありがとうございます。もう一点質問なのですが、32 ページ目の「空き家対策とまちなかの賑わいづくり」で、居住誘導区域内戸建住宅新築数を指標にされていますが、具体的な取組内容を見ていくと、空き家対策のものが中心になっているようです。空き家活用も含めた指標の方が良いのではないのでしょうか。

<都市計画課長>

持続可能な都市基盤の整備においては、コンパクトシティの実現を意識しており、居住誘導区域内の居住希望・意欲、そういったものが高まっていくことが必要だということで、当時この指標を採用しております。新築数自体が減っている中で、空き家・空き地の活用も重要となっていますので、指標については検討してまいります。

<委 員>

今日の新聞に出ていたのですが、他県では今年の早場米の仮渡金が2万を切るような値段になっています。これでは農家はやっていけません。たまねぎなどの作物は、肥料がかかるから採算が取れないんです。来年は米を作れず田んぼを手放す農家が出てくるのではないのでしょうか。

<農政課長>

米の値段等の課題があると、農家の貴重なご意見として承りました。

<委 員>

教育の充実で、燕市だけの問題ではないのかも知れないですが、何のために勉強するかというところが、子どもたちが分かっているのか非常に気になっています。

地元の中高生のキャリア教育をお手伝いしているのですが、先日、非常にショッキングな出来事がありました。地元の高校の夏休みのインターンシップを受け入れるために生徒と面談したのですが、ほぼ全員が親御さんの仕事を知りませんでした。自分の身の回りの大人が、どうやって稼いでいてどうやって生きているか理解してないんですね。何らかの手段で地域の大人がそれを見せていく仕組みが必要だと思います。すぐどうのこうのではないと思いますが、一つの考えとして取り入れていただければ、ありがたいなと。

<会 長>

付け加えて私からも質問ですが、他の自治体でもやはりNRTでの数値が芳しくない状況です。これからこうします、は書いてありますが、要因分析として何が原因で、というところははっきりさせなければいけないのではないのでしょうか。

<学校教育課統括指導主事>

キャリア教育に関連してお答えします。燕市ではコミュニティ・スクール（学校運営協議会）を導入したことで、学校ごとに職業人の方々が子どもたちの前で仕事やキャリアについて語っていただく機会が設けられています。まだ始まったばかりの取組ですが、今後さらに推進していきたいと考えております。

また、燕市ではGood-Job（グッジョブ）燕というキャリア教育を実施しています。中学生を対象に、1年生ではキャリア講演会を行い、2年生になるとマナー講習会を経て、3日間の職場体験を実施しています。職場体験については、市内140以上の事業所様からご協力いただき、アンケートでは「将来の自分の未来に向かって勉強したいと思うようになった」という結果も出ております。様々な課題もありますが、少しずつ改善しながら進めていきたいと考えています。

もう一つの「何のために勉強するのか」という点については、大きな課題であると捉えています。小・中学生では発達段階によって異なりますが、小学校1年生の頃から「将来この職業に就くために勉強する」という明確な意識を持つのは難しいかもしれません。低学年であればあるほど、根本的には「学ぶ楽しさ」や「分かる喜び」を感じることが大切だと考えております。

最後に、NRT（標準学力検査）については、基本的にはほぼ毎年同じような傾向の問題が繰り返されています。したがって、対策としての練習問題に取り組みば点数が上がりやすく

なります。小学校では丁寧に指導や対策が行われる一方、中学校になるとある程度、生徒の自主性に任せられる部分が大きくなるため、小・中での結果の差にはそうした背景が多少影響していると分析しています。

特に、小学校で自立して学習に取り組む力をどれだけ育てられるかを見直し、その力がつくような指導を小学校段階から行う必要があります。子どもたちの「分からない」を解消するための手立てや支援に着目した授業改善を進めるため、指導主事が現場に入り、実態に合わせた支援を進めているところです。引き続き継続していきたいと考えております。

<委 員>

Good-Job（グッジョブ）燕実行委員会の委員長をやっており、日ごろ思っていることとして、先生方も事前に現場に見学に行かれてはどうかと思います。例えば、果実の収穫やって会社だったら、収穫だけさせたらいいのか、選別をさせたらいいのか。袋詰めもさせたらいいのが、どこまでどうしてやったらいいか分からないわけですね。職場体験発表でも、大変さが分かりました、という感想が多いですが、僕だったらこうしたらいいと思いますという言葉が出てくるのが理想的かと思います。そういった意味で、先生方が事前に現場を見ていただくと、今後の教育にプラスになるのではないかなと思います。

<会 長>

教員は忙しくなっている中ではありますが、現場を知ることでもある必要ではないかという意見を頂戴しました。貴重なご意見ありがとうございました。他にございますか。

<委 員>

いくつかお願いします。17 ページの全国規模のスポーツ大会の出場者数は、要因分析が書いてありますが、何競技、何名という風に記載いただけると良いかと思います。

また、31 ページの省エネに取り組んでいる人の割合は、意識啓発が重要とあります。原発が云々の前に、まず省エネをやってみるということが大事だと思います。

また先ほどの米の件ですが、認定こども園では、米飯給食を進めています。パンは1ヶ月に1回あるかどうかです。こうした啓発活動も市のレベルで考えられるのではないのでしょうか。

33 ページの道路・公園について、千葉県や滋賀県で、大きな交通事故が以前問題になりました。まちなかで歩道のないところに、グリーンベルトが整備されていることがあります。注意喚起として十分効果があると思います。通学路などでの整備予定はあるのでしょうか。

<土木課長>

グリーンベルトは市内でも、通学路を中心に何か所か整備していますが、予算も限度がありすべての整備までは至っておりません。なお、現在は、通学路を中心に、外側線の引き直しを計画的に行っているところです。

<委 員>

5 ページの法人開業数についてですが、後継者不足での廃業も多くあると聞いています。この数字が純増ではないと思いますが、廃業の状況が分かれば教えてください。

<商工振興課長>

廃業もトータルしますと 481 件となっております。新しい会社も生まれれば、やはり廃業される事業者も出てくるということで、全て廃業が悪いということというふうには認識しておりませんので、よろしくお願いします。

<委 員>

6～7年前に、商工会議所で今後の事業継続についてアンケートを取った際、燕市の場合零細が多いものですから、自分の代で廃業という方が700件くらいあったかと思います。

<会 長>

せっかくいいビジネスノウハウを持っても、自分の代でやめるのはもったいないと思いますが、事業承継の取り組みはされているのでしょうか。

<委 員>

M&Aの啓発強化も必要かと思いますが、零細企業では忙しく、プラスアルファの情報が入りにくい状況もあるのではないのでしょうか。

<商工振興課長>

今年度、事業承継のアンケート調査を1000社以上、市内全域でやっており、調査結果を持って対策を検討したいと思います。

<委 員>

産業界でも人手不足が問題となっており、外国人労働者が増えています。人口戦略の中には、外国人も含まれているのでしょうか。例えば、14ページの移住・定住事業には外国人も対象になっているのでしょうか。

<地域振興課長>

移住者数は市の支援制度を活用して移住した数を含めており、外国人も対象となっています。

<委 員>

外国から来る人は優秀な方でしょうし、定住人口増に向けて対象を広げてはどうかと思いますが。

<地域振興課長>

東京圏からという補助要件については、国の制度として設計されたものです。これ以外の国際交流事業などでは、燕市としては一緒に暮らす、一緒に働く仲間という認識で考えております。

(3) 地方創生関係交付金活用事業の効果検証について

(4) SDGs 未来都市計画の進捗について

(事務局より、資料3「地方創生関係交付金活用事業 効果検証」、資料4「SDGs 未来都市計画 KPI 一覧」を説明)

<会 長>

2つの交付金ですが、いずれも設定した指標について、外部有識者の評価を受ける、チェックを受けるということが国からの交付金を受けるための条件になっています。ご質問、ご意見などございましたらお願いします。

(委員からの発言なし)

<会 長>

では私から質問ですが、主要観光施設における売上額で、大幅に増えていますが、どういった要因でしょうか。

<観光振興課長>

道の駅 SORAIRO 国上では、指定管理者も頑張っており、道の駅の全国誌のランキングでも3位になるなど評価が高まっています。そうした要因もあり、さらに来訪者・売上額が伸びたのではないかと推測しております。

<会 長>

資料2、資料3を通じて、他にご意見無いようでしたら、当審議会といたしましては、この交付金の事業のKPIの達成に有効であったと認めたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

はい、ありがとうございます。それでは、本審議会としましては有効であったというふうに認めたいと思います。

7. その他

<会 長>

他に全体として何かありますでしょうか。

<委 員>

地域未来戦略の地場産業成長プランの申請で、燕市が金属洋食器のプランを出すようです。概略で結構ですが、どういったことをやるのか教えていただけますでしょうか。

<商工振興課長>

内閣官房の方で7月の下旬に先行事例として発表する予定になっております。要は高品質な洋食器に特化して発展させていこうというものです。7月下旬になると公表できるようになりますので、よろしくお願いします。

<会 長>

事務局からは何かありますでしょうか。

(事務局より、次回会議の予定を説明)

<会 長>

他に特段ないようでしたら、以上をもちまして、令和8年度第1回の燕市総合計画審議会を閉会いたします。どうも皆様ありがとうございました。